



今月の表紙は、里保育園で行われた餅つき会です。園児や保育士たちが協力してついた餅は、きな粉やあんこをまぶしてみんなで食べました。

今月の表紙

みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています
〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場 広報こうた係
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線323)
FAX63-5139



知って得するくらしの

知恵袋

住宅の密集地やマンションなど共同住宅では、隣近所の物音や話し声に悩まされることが少なくありません。音の侵入をシャットアウトし、こちら音の流出を最小限にするための簡単な方法をご紹介します。

防音のコツは、まず何の音がどこから入ってくるかを確認して、一つひとつに適した対処をすることです。

隣の部屋の物音や話し声が壁越しに聞こえるときは、壁に本棚やタンスなど大きい家具をぴったりつけて置くか、壁一面にカーテンを張ると、音をかなり小さくすることができます。防音効果の高い発泡スチロールの平板を家具と壁の間に挟むと、さらに効果的です。発泡スチロールの平板は、建材や文具の店で入手できます。

自動車の走る音など窓から騒音が入ってくる場合は、防音用の

部屋の防音対策

～家具やカーテンを効果的に利用～

すきまテープで音の侵入を抑えます。さらにカーテンを厚手のものに変えたり、二重にしたりすることで効果はアップします。

玄関から外の物音が入ってくる時は、ドアの内側にカーテンをつけましょう。窓と同じようにドア周りに防音用のすきまテープを張ると、すきまから侵入する音も防げます。

隣のお宅の物音が響くということは、自分の家の音も聞こえている可能性があるわけです。出す音にも気を配りましょう。テレビやオーディオは、隣に響きにくい位置を考えて置くことが大切です。

フローリングの部屋でいすを引く音は、下の階にかなり響きます。いすの脚先にフェルトの布を張ると静かになります。洗濯機やエアコンの室外機は、振動も問題です。下に防振マットを敷くと揺れが軽減できます。



【習字「雄大展望」】
神本 幸季さん

みんなの作品展!



【習字「努力成果」】
山名 瑠香さん

皆さんの作品を募集します。応募方法はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、広報こうた係までお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

こんな意味? こんな意味!!

「福神漬」

福運を授けてくれる七福神といえは、蛭子・大黒天・毘沙門天・弁財天・福祿寿・布袋・寿老人の七柱。昔は正月により初夢を見るため、七福神を乗せた宝船の絵を枕の下に入れて寝る風習がありました。また、元日から7日までに初詣と行楽を兼ねて、7つの社を訪れる行事が「七福神巡り」で、東京では谷中や向島の七福神が知られています。

七福神にちなむ「福神漬」は、軽く塩漬けにした大根・はすね・なたまめ・うり・なす・しょうが・しその実など7種の野菜類を細かく刻み、混ぜ合わせて砂糖や醤油で煮しめた食品。かぶ・ごぼう・うどまけのこななどが使われることもあります。

明治18(1885)年に東京上野の漬物店で売り出されたのが始まりで、谷中の七福神で知られた不忍池の弁天にあやかった命名とされています。



青春トークリレー

第154走者

いなよし えつこ
稲吉 悦子さん

上六栗区在住 22歳 飲食業
身長 156cm O型
好きなタイプ 楽しい人
好きな芸能人 aiko

私は、小学校入学の時、幸田町に引っ越してきました。最初は新しい環境に戸惑うことばかりでしたが、友達や近所の方々が優しく接してくださったので、すぐに溶け込めました。

現在は、父が自営業を営んでおり、名古屋から地元へ移転し、昨年10月にオープンしたため、私も手伝いをしています。日々、接客業の大変さと今まで知らなかった父の働く姿に偉大さを感じています。

これからも自然豊かな幸田町を大切に、自分自身も成長していきたいと思います。



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。
希望者は企画情報課まで。



豊坂保育園は、保育園の西南にある「まどかの郷」との交流を1年を通じて行っています。今回はその様子を紹介します。
まずは、子どもたちの発表を見てもらいました。今年度は、昔なつかしい「わらべうた」を披露しました。何曲も歌いましたが、中には保育士も知らない曲があったり、「桃太郎」のように皆さんもよく知っている曲もありました。4月5月当初は見られていたことが緊張していましたが、

まどかの郷との交流の巻

わんぱくぐだより

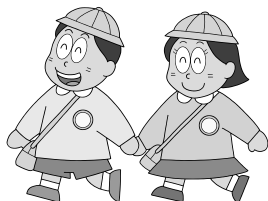
「某日某日」
「豊坂保育園」

そこは歌が大好きな子どもたち、次第に楽しく歌うことができるようになってきました。



その後は、お年寄り向き合せて、CDに合わせて手遊びやじゃんけんをしたり、肩たたきをしたりと、触れ合い遊びを楽しみました。短時間ですが、名前を聞かれたり、年齢を聞いて

「100歳」と言われ、目を見開いて驚いたりしていました。
最後はお別れの握手。一人ひとりと握手をしていくと、涙を流されたり、手を離そうとしないかたが見えたり・・・。
いろいろなことをとても楽しみにしながら、子どもたちは歌の練習をしたり、プレゼント作りをしたりしています。



新年、あけましておめでとうございます。本年も「広報こうた」をよろしくお願ひします。
平成18年1月1日、岡崎市と額田町が合併に伴い、額田郡は幸田町のみとなりました。今まで、ともに額田郡として歩んできた額田町の名が無くなってしまふことを少しさみしいと思ひながら、新生岡崎市がよりよい市となっていくことを願っています。もちろん、幸田町も今以上にいまちを目指して頑張っていきます。(D)

ちよと
編集者の
ひとりごと

「深溝断層」三河地震の遺した爪痕、講演会、地震体験コーナーを体験してきました。地震対応について理解していたつもりでしたが、地震体験車で震度7で揺さぶられてびっくり。何もできませんでした。震度7ならほとんどの家が倒壊するそうです。枕元にスリッパ、懐中電灯、笛、眼鏡を準備し、助け出してもらえるよう心がけることが大事だそうです。普段からの「そなえ」と「どう行動するか」を考えておくことが大切だと納得しました。(N)